

売れる米技術情報

～ 売れる「新潟なんかん米」づくり運動～

品質向上対策3本柱！

- ①適正粒数確保
(小できな稲づくり)
- ②後期栄養・水の確保
(粒張りの良い米づくり)
- ③土づくり
(気象変動に強い稲づくり)

平成18年7月26日
新潟なんかん米改良協会
県央農業振興会議
三条農業普及指導センター

- ① 長雨でいもち病の確認地点が増加しています。ほ場の見回りを徹底し、病害虫の早期発見・適正防除の徹底を！
- ② 安全・安心な米のため出穂25日間の間断かん水の継続を！

1 水稻生育状況（7月20日現在）草丈：並、茎数：並、葉数：並、葉色：やや濃い

○7月10日以降の多雨・寡日照の影響で、幼穂形成期に入り草丈が急伸長してきています。

品 種	場 所	移 植	草 丈(cm)			茎 数(本/m ²)			葉 数(葉)			葉 色 (SPAD)		
			本年値	前年比	平年比	本年値	前年比	平年比	本年値	前年差	平年差	本年値	前年差	平年差
コシヒカリ	三条市	5/9	79	91	96	422	105	112	11.8	-0.2	0.0	37.8	-0.2	1.9
こいぶき	三条市	5/9	73	85	94	394	93	107	12.3	-1.1	-0.4	40.2	1.6	0.5

2 今後の技術対策

(1) 病害虫防除

①いもち病 葉いもちが確認されています！

○ 管内各地で葉いもちが確認されています。ほ場の見回りを徹底するとともに、特に、コシヒカリ以外の品種では穂いもち予防防除を基本に、葉いもち発生程度や気象条件等から散布回数を決めましょう。

→散布適期：1回散布では出穂期、2回散布では出穂直前と穂揃い期

○ コシヒカリで葉いもちの発生を確認した場合は、直ちに防除する必要はありませんが、JA・NOSA Iまたは農業普及指導センターに連絡をお願いします。

②カメムシ 多発生に関する注意報が発令されています！

○ 本年も斑点米カメムシ類の密度が高いので、適期適正に薬剤散布しましょう。

【ネオニコチノイド系殺虫剤を活用した防除例】

散布薬剤名	防除時期	量・回数
スタークル粒剤	出穂3～7日後	3 kg/10a 1回
ダントツ粒剤		3～4 kg/10a 1回

(2) 出穂期～登熟初期の水管理 登熟を良好にするため水管理が非常に重要です

①間断かん水の徹底

出穂後25日間は稲体に水が必要です。特に出穂後の2週間に高温になったり水分不足になると乳心白粒が発生しやすくなりますので、出穂後25日間は間断かん水を徹底しましょう。

②異常高温時の水管理

フェーン現象等異常高温が予想される場合、速やかにかん水し高温障害を防止しましょう。また、広域に効果的にかん水できる体制を検討しておきましょう。

間断かん水により土壌水分を保ちましょう。また用水不足にならないよう、かけ流しはやめましょう。

農道・畦畔の草刈りの徹底と本田防除により斑点米を防止しましょう。